



# 広報えびな

編集・発行

海老名市役所 広報広聴課

〒243-0492

神奈川県海老名市勝瀬175番地の1

☎ (046) 231・2111

URL <http://www.city.ebina.kanagawa.jp>

\*この広報は再生紙を使用しています。



市では、第4次行政改革（平成15年19年度）を4月からスタートさせます。この改革では、第3次行政改革まで進めてきた行政のスリム化や経費削減を継続しながら、より充実した市民福祉の向上を図るため、職員の意識改革や市民のみなさんの行政への満足度調査などを行っていきます。

# 市民福祉の向上へ！

## ◆ 第4次行政改革4月からスタート ◆

### 「無駄」を省いて市民サービス

行政改革とは、厳しい社会情勢と景気低迷の中、行政の仕事の進め方を見直して、「無駄」を省き、市民のみなさんが満足するサービスを提供するための取り組みを言います。昭和61年から始めたこの改革は、期間を分けて、主に金額の節減に主眼をおいて進めてきました。一方、市民サービスの向上を図るために、インターネットを活用した行政情報の提供や民間委託の推進などに努めてきました。

きました。中でも、職員の削減、補助金の見直しによる行政のスリム化や経費削減によって、平成13年度末まで行った第1～3次行政改革の累計節減総額は、約13億6000万円になりました。一方、市民サービスの向上を図るため、インターネットを活用した行政情報の提供や民間委託の推進などに努めてきました。

## 市民参画と職員の意識改革

活動に市が支援する一方、市の事業にスタッフ

今回の第4次行政改革大綱策定にあたっては、市民の代表で構成する「海老名市行政改革推進懇話会」から意見や助言を求めました。その結果を受け、市職員で構成する「海老名市行政改革推進委員会」で原案を作成しました。

### 時代の要望 にも対応

改革の内容は、従来の経費削減を継続しながらも、時代の要望に対応してIT技術を用いた市民サービスの展開や、環境を守る諸活動を推進するほか、大きな特徴として、市民参画と全職員の意識改革を推進します。

### 市民のみなさんの 意見も反映

市民参画としては、市民の自主参加事業、市民満足度調査、さらには、都市ブランドの創設などがあります。自主参加事業は、市を「よくしよ

### ★ 第4次行政改革の目標 ★

#### ◎市民参画に向けて

##### ■市民の自主参加事業の試行

海老名市を良くしようという気持ちを持った市民の自主的で善意の活動をサポートします。また市で行っている多くの事業等に市民の方々にスタッフとして参加してもらい、市政に市民の声や意見を積極的に反映させていきます。

例. 平和国際交流展スタッフや学校支援ボランティアなど。

##### ■市民満足度調査の試行

市が行っている事業や事務について、その効果を判断する方法の一つとして市民満足度の調査を多角的な視点で行います。

また、市民の満足度を把握する方法についても、積極的に研究および試行を行って効果的な事業の遂行を目指します。

例. 市で行うイベントや各種事業等で、アンケートなど実施。

#### ◎職員の意識改革

##### ■時差勤務の試行

夜間の会議や交渉がある場合、あらかじめ遅く出勤することで時間外勤務手当の支給を抑えることができます。さらに今後、この時差勤務を利用して、各種申請や受付ができる窓口時間の延長など、市民サービスの向上についても調査・検討を始めます。

例. 用地交渉や職員が行う市民への出前講座など。

##### ■マンナワード記録型自己認識制度の試行

職員が自らの仕事と仕事にかかった時間を記録し、人件費に無駄がないかチェックすることで、以前にも増して事務の効率化を図っていきます。

#### ◎市民と共に考える

##### ■都市ブランドの創設

海老名市を誰からも好感が持たれる都市となるように、市民の人たちと共に他市にはない「海老名らしさ」を発見し、「海老名」という言葉が海老名の魅力を連想させる「都市ブランド」を創り、市への愛着と誇りを育んでいきます。



今後も市民サービスの向上を図ります

(左表参照)

全職員の意識改革としては、時差勤務の試行を行つて時間外勤務手当の削減や窓口業務時間の延長を探るほか、仕事に費やした時間費用に換算する「マンナワード記録型自己認識制度」の試行を行い、職員が自分の勤務時間と人件費をチェックして事務の効率化を図つていきます。